

宮脇通線外4線自転車通行空間整備設計業務

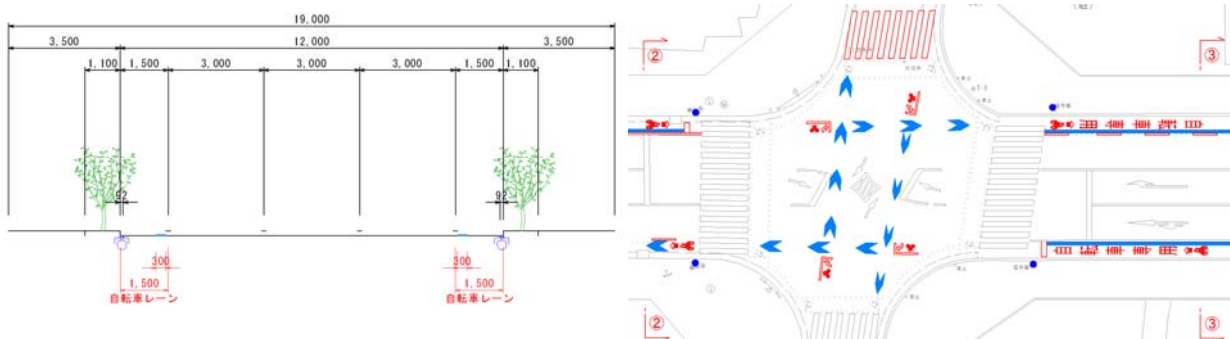
発注年度	平成29年度
発注機関	宮崎市役所 建設部 道路維持課
業務場所	宮崎県宮崎市宮崎駅東3丁目 他
業務内容	<p>宮崎市は、気候・地形など自転車利用に適した環境であり、通勤通学や買物・レジャーなど身近な交通手段として自転車が多く利用されている。一方で自転車関連事故、特に対歩行者事故が近年増加していることから、平成24年に国土交通省と警察庁共同で「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」が発出され、基本的な整備方針が示された。</p> <p>本業務は、これらの背景を踏まえ平成26年に宮崎市により策定された「宮崎市自転車安全利用促進計画」を基に、短期的には自転車事故の低減、長期的には車から自転車への転換による交通渋滞・環境負荷への低減を目標とし、安全で快適な自転車通行空間の検討・設計を行うものである。</p>

現況写真・概要

◆交通状況・道路状況・整備の難易度を勘案した最適な整備形態の検討・選定◆

自転車道	自転車道(一方通行)	自転車レーン	自転車誘導レーン	車道混在
<p>緑石路・橋その他 これに類する 工作物により区画</p>	<p>緑石路・橋その他 これに類する 工作物により区画</p>			
<p>歩道 自転車道</p>	<p>歩道 自転車道(一方通行)</p>	<p>歩道 自転車レーン</p>	<p>歩道 自転車誘導レーン</p>	<p>歩道 車道</p>
<p>構造的な分離 (法定)</p>	<p>構造的な分離 (法定)</p>	<p>視覚的な分離 (法定)</p>	<p>視覚的な分離 (法定外)</p>	<p>混在 (法定外)</p>
<p>2.0m 以上</p>	<p>1.5m 以上</p>	<p>1.5m 以上</p>	<p>1.0m 以上 1.5m 未満</p>	<p>幅員の基準無し</p>

◆路面標示や案内サインの設置計画◆



◆自転車利用環境の現状と課題◆

車道幅員内に自転車通行空間確保が困難な路線が多いことから、車道混在型の整備手法選定となり、やむを得ず暫定的な自転車ネットワークの構築となる。また、道路利用者の自転車に関する交通ルールに対する認識、自転車は車両であるという認識が薄いことで、道路における自転車の位置づけが曖昧になっているのが現状であり、自転車通行空間整備のスケジュールと並行して道路利用者への自転車利用に関する交通ルールの周知・啓発をいかに行っていくかが直近の課題である。